

【伊万里港】 国際物流ターミナル整備事業

伊万里港七ツ島地区のコンテナ貨物取扱岸壁の能力不足(バース数と水深不足)に伴う非効率な輸送形態を解消するとともに、コンテナ船の大型化に対応すべく、新たに水深13mの岸壁を整備しています。水深13m岸壁を平成25年度に、航路泊地についても平成27年度に完成させ、現在、東アジアとの国際定期コンテナ航路を有し、西九州地域の物流拠点となっています。また、背後の幹線道路と接続する臨港道路七ツ島線を令和4年度に完成させ、本事業は完了しました。



臨港道路七ツ島線の概要

企業立地が進展する七ツ島地区に、背後の幹線道路と接続する臨港道路を整備することで、慢性的な交通渋滞を解消させるとともに陸上貨物輸送の効率化を図り、さらには、背後圏企業の産業活動を支え国際競争力の強化・充実、沿道環境の改善を図ることを目的に臨港道路の整備を行い、令和4年8月に供用を開始しました。

